

平成28年度

公共事業事後評価

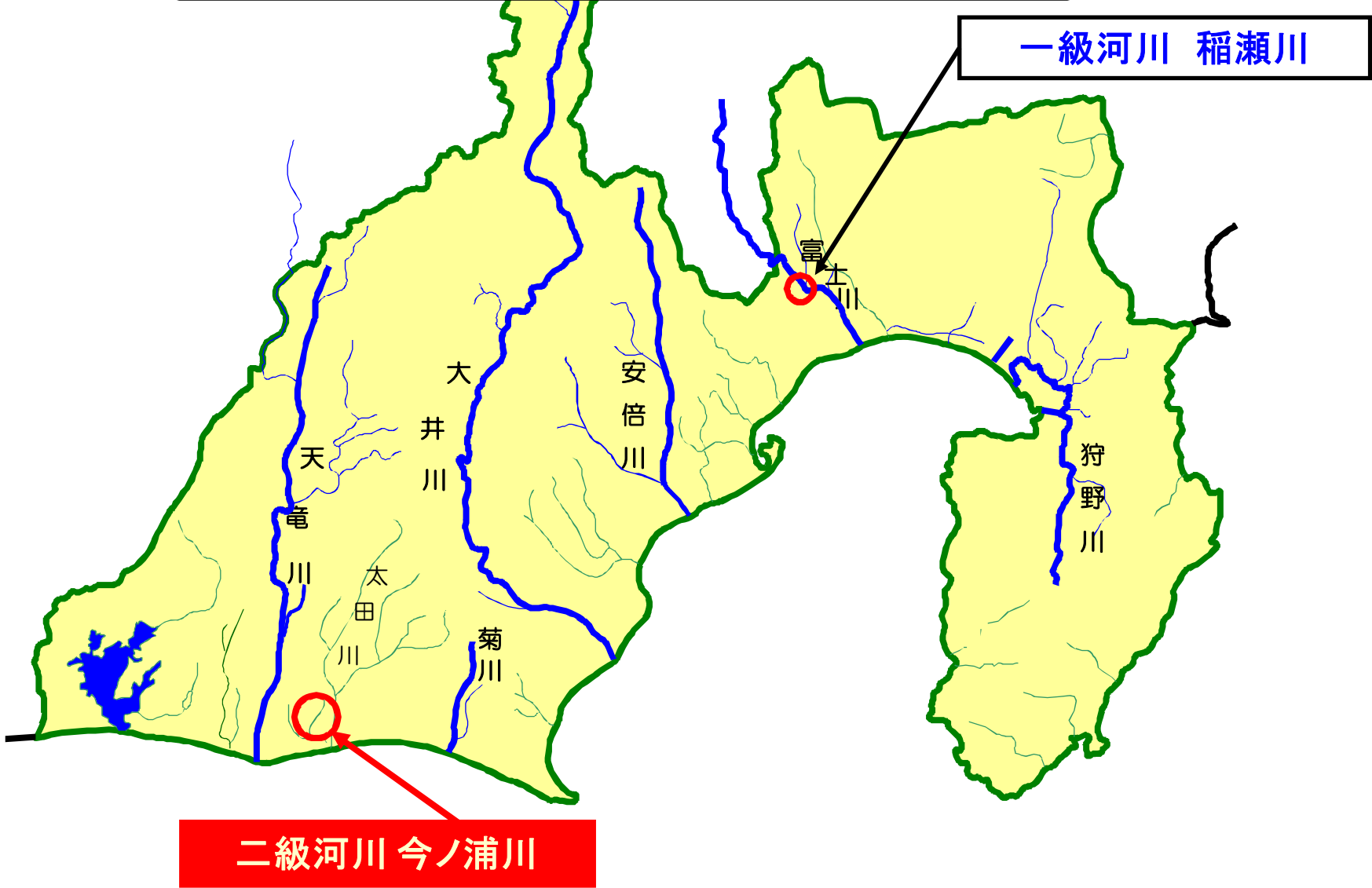
重点	事業名	箇所名
◎	広域河川改修事業	二級河川今ノ浦川
	総合内水対策緊急事業	
	総合流域防災事業	一級河川稲瀬川

河川砂防局 河川海岸整備課

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

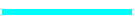

静岡県交通基盤部

事後評価実施箇所 位置図



1.位置図



凡 例	
事業対象河川	
事業区間	



2. 事業概要(1)



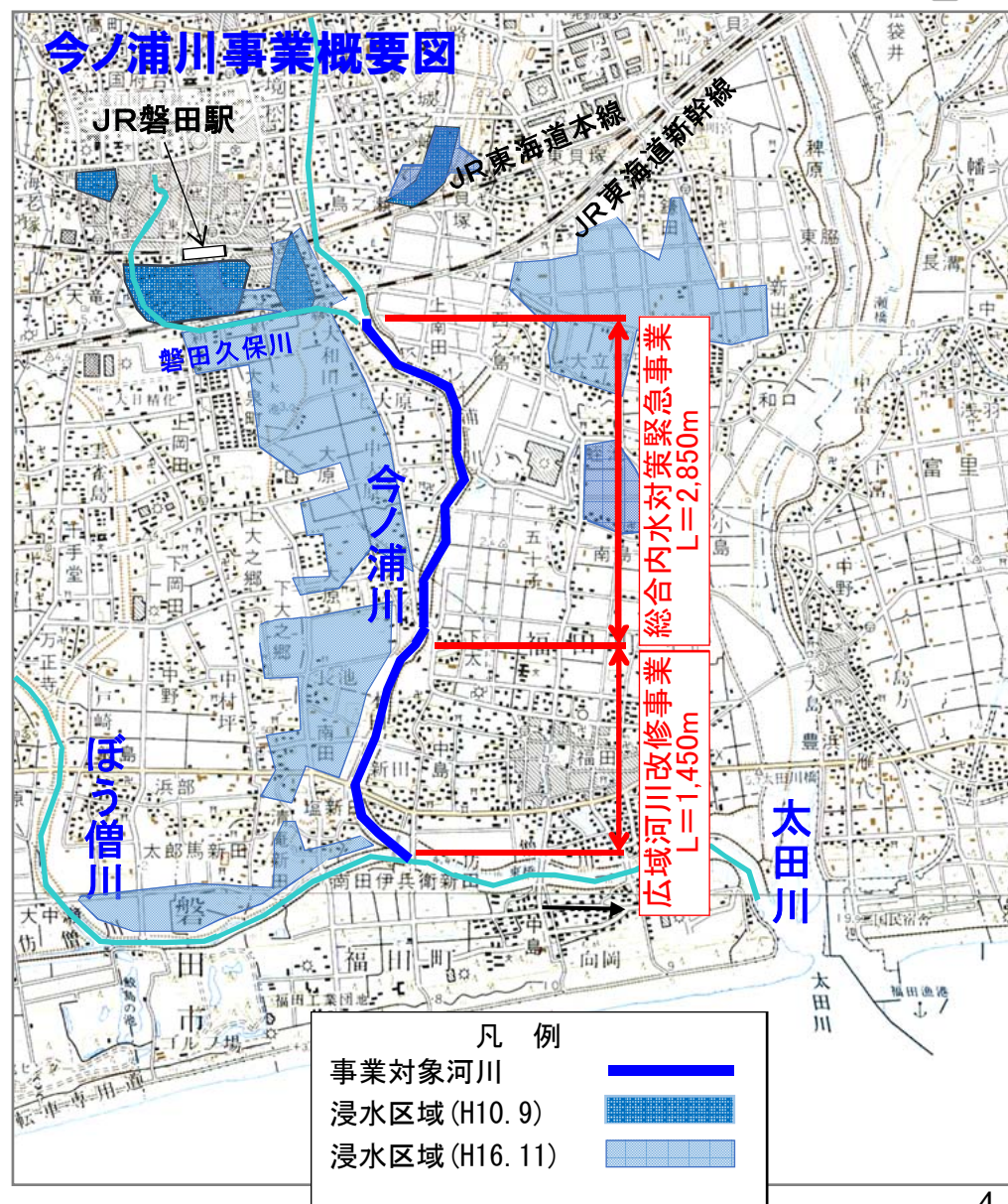
— 当初計画(広域河川) —

事業期間	平成12年度～平成33年度
事業費	3,872百万円



— 実績(広域河川・総合内水) —

事業期間	平成12年度～平成23年度	
事業費	広域河川	972百万円
	総合内水	1,801百万円
	計	2,773百万円



2. 事業概要(2)

改修規模

63mm/h、治水安全度 1/20

概略平面図

<事業内容>

改修延長 : L=4,300m

築堤工 : V=32,760m³

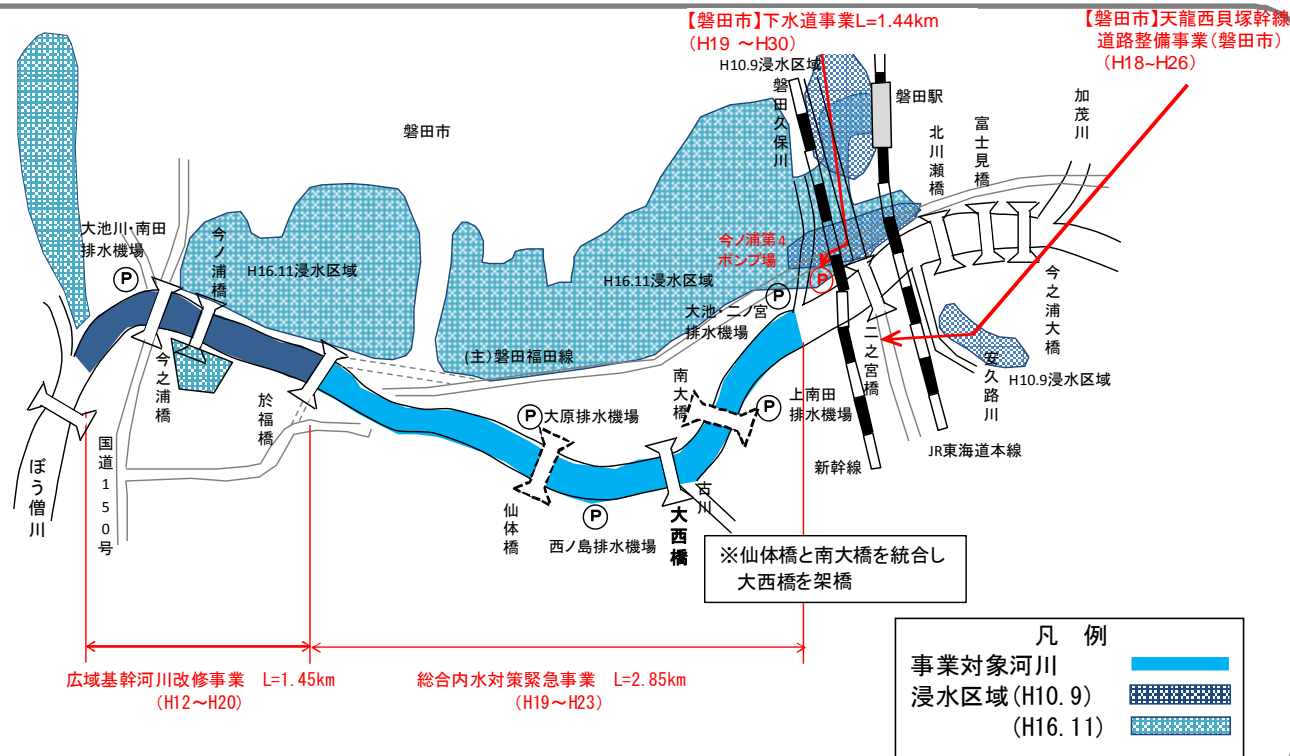
掘削工 : V=140,250m³

浚渫工 : V=17,500m³

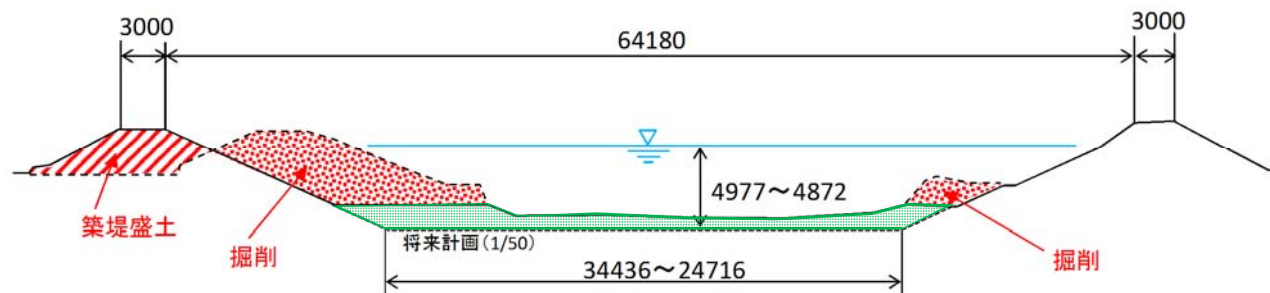
橋梁工 : N=2橋

樋門・樋管工 : N=8基

床固工 : N=1基



標準断面図



3. 過去の浸水被害の状況

平成16年11月12日 集中豪雨

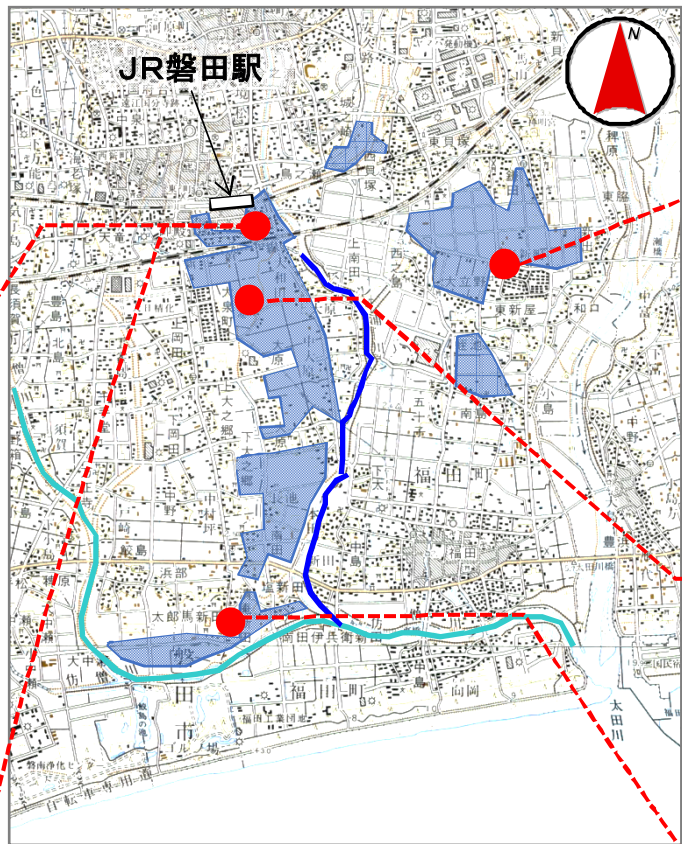


● 駅南 二之宮地区 救助状況



● 磐田福田線のJRアンダーパス

凡 例	
事業対象河川	
浸水区域 (H16. 11)	



総雨量	最大時間雨量	床上浸水	床下浸水
257mm	68mm	61戸	163戸



● 磐田市東新町



● 大池周辺

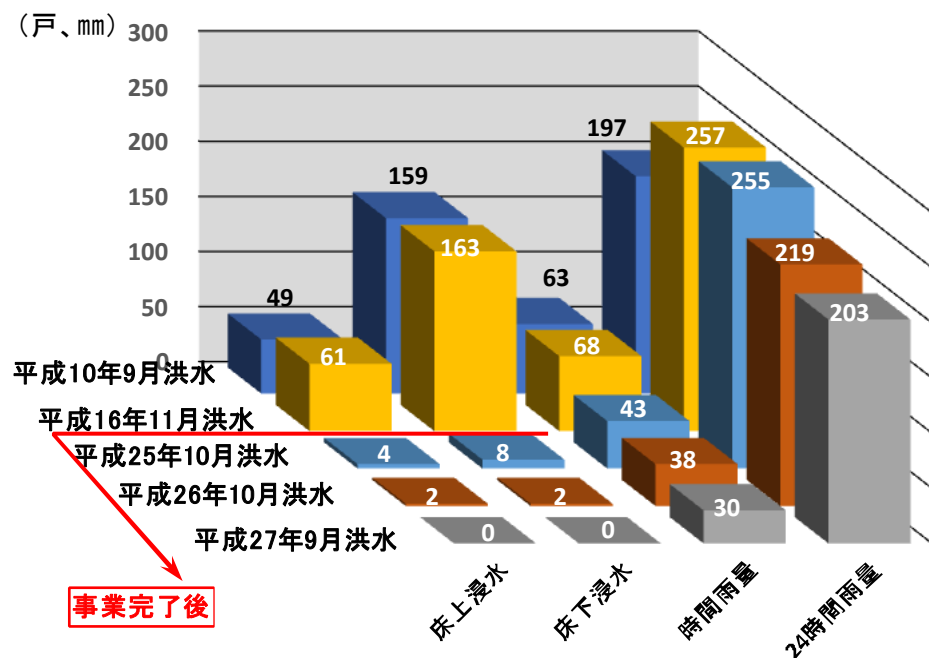


● 磐田市浜部付近

4. 事業効果

事業完了後、整備目標の平成10年9月洪水と同規模の降雨が複数回発生しているが、浸水被害は大幅に減少している。

特に、磐田市による下水道整備（雨水幹線・今之浦第4ポンプ場）も含めた総合内水対策事業の進捗により、二之宮地区では家屋浸水被害が大幅に減少した。



費用対効果 (B/C)	総便益 (B)	1,910億6,500万円
	総費用 (C)	46億1,500万円
41.40		

※平成28年度換算価値

事業効果が発現されている

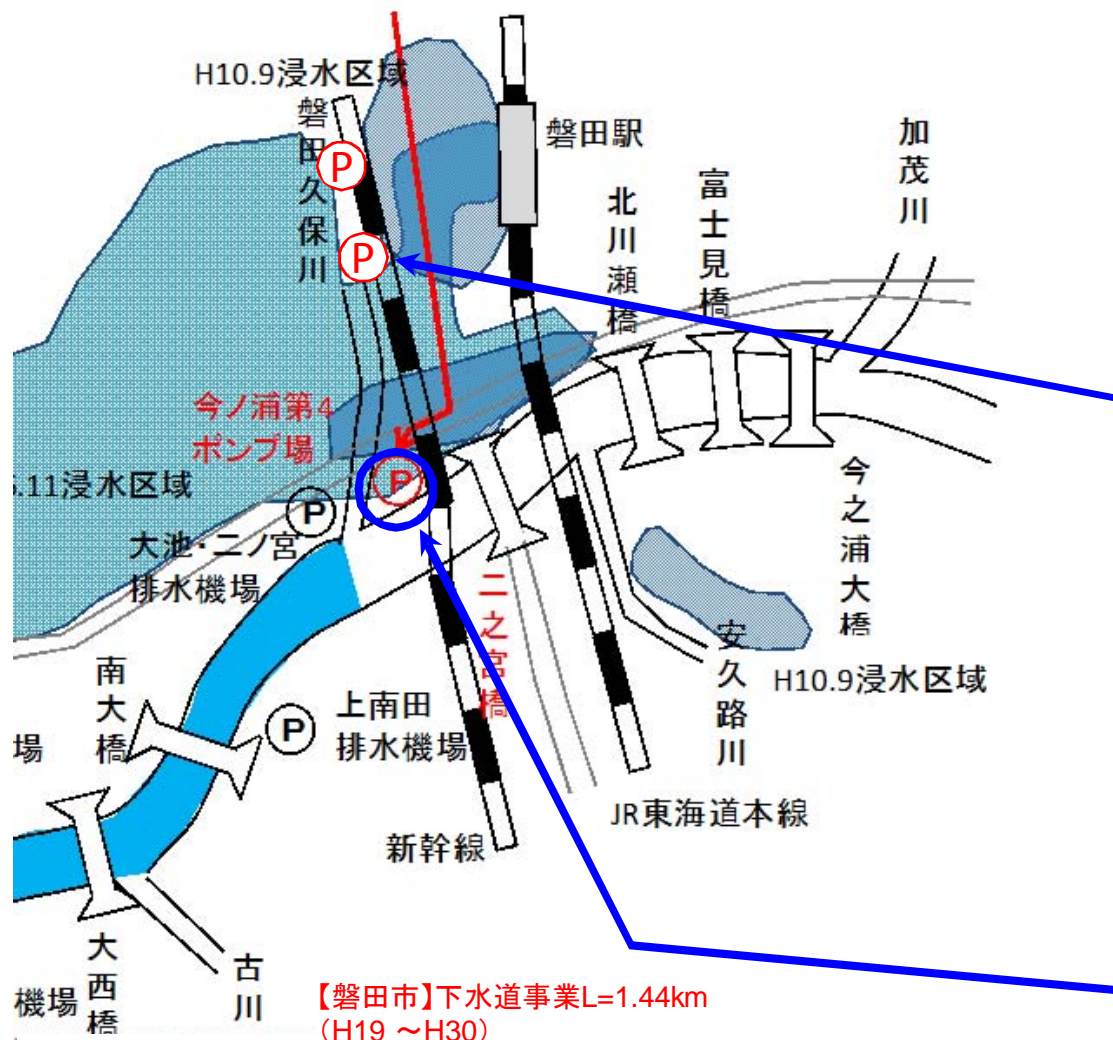
5. 関係機関と連携した治水対策



協議会で各施策の実施状況を進捗管理

6. 連携する事業の状況

磐田市下水道事業の進捗状況



【磐田市】下水道事業L=1.44km
(H19 ~H30)

- ・雨水渠整備 L=1.44km
- ・排水ポンプ場整備 N=3箇所

●谷田川排水ポンプ場 樋管工事状況

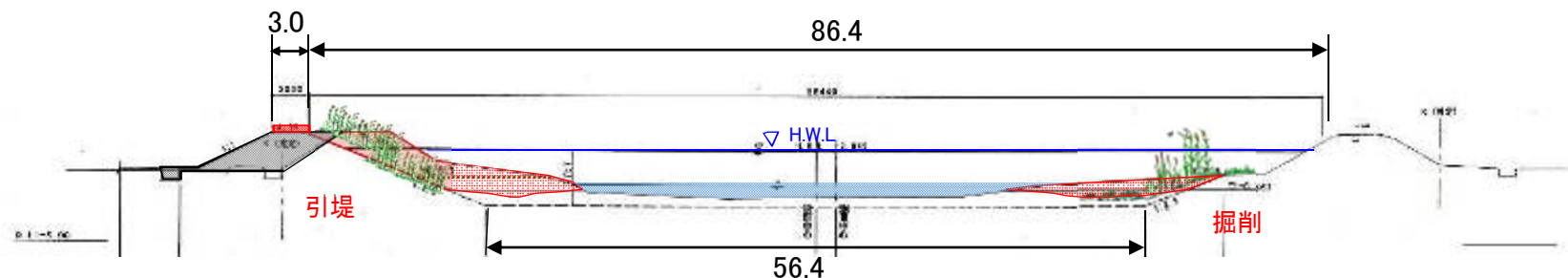


●今ノ浦第4ポンプ場の整備(H25完成)



7. 自然環境復元への配慮

今ノ浦川標準断面図



大西橋上流の河道状況



8. 事業を巡る社会情勢等の変化

土地利用高度化の進展

磐田駅北区画整理事業や下水道事業と併せた天龍西貝塚幹線道路整備など、磐田駅周辺を中心に土地利用が進んでいる。



磐田駅(北口)改修(H28.3完成)



天龍西貝塚幹線道路整備(H27.3完成)

9. 対応方針(案)

- ・ 下水道整備（磐田市）も含めた事業の進捗により、
浸水被害が大幅に減少し、治水効果が認められる。
- ・ 河床の多様性の維持、水際部における生物の生息環境の
保全により、良好な河川環境が確保された。

**事業効果は発現しており、
改善措置の必要はない**

今後の対応

- 想定外の降雨に対し、ハード対策にソフト対策を加えた治水対策を推進する。
- 河川の適切な維持管理に努めるとともに、地域住民との協働による河川管理（リバーフレンドシップ等）を強化する。